新製品「CLT２０１６」許容応力度法

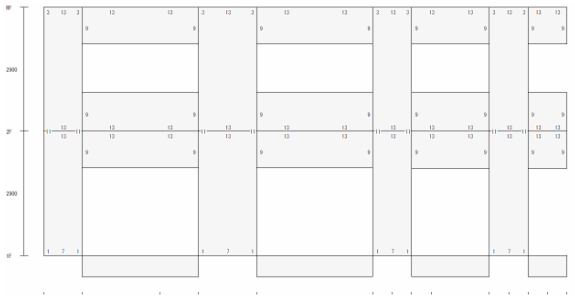
CLT パネル工法一貫計算プログラム

このプログラムは、２０１６年６月「CLT 関連告示」に基づいて作成されております。
ルート１の許容応力度法に準拠しております。

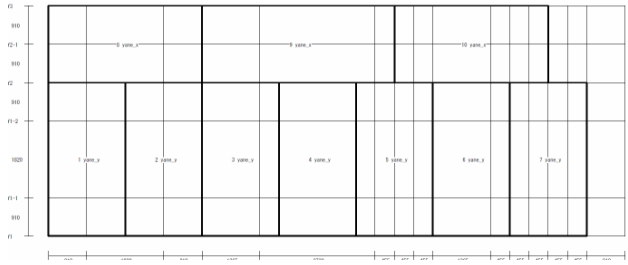
概要及び特徴

規模　地上３階　軒高９ｍ　高さ１３ｍ以内
　　スパン　X・Y 方向　１００スパンＸ１００スパン（開口はスパンに含まれません）
使用材料　CLT パネル　３層３プライ、５層５プライで、ラミナ厚２４ｍｍ以上３６ｍｍ以下とする
　　ルート１金物　x（クロス）マーク　壁パネル厚は、９０ｍｍと１５０ｍｍの２種に限定、接合部の要求性能を満たしている。
入力方法　**CAD 入力で、壁パネルと床パネル(強軸方向)，荷重データと開口データを入力するだけで全自動にで、計算書を作成します。**
計算方法　一貫計算にて、荷重、応力（独立耐震壁モデル）にて、壁パネルの検定を行います。
　　床パネルは長期の検定を行い、水平構面は応力解析し各階方向別に解析します。
　　開口データにより垂れ壁のせん断金物を自動算定します。
　　各接合金物も自動配置し、伏図、軸図に出力します。
　　柱、梁は集成材で、長期の検定を致します。
　　剛性率と偏心率の計算を行います。
基礎（オプション）　べた基礎・布基礎の検定を行います。
　　べた基礎は自動にて全スラブ（コーナは自動で２辺固定２辺ピン）にて解析
　　基礎梁は、連続梁にて解析します。
出力　目次、入力データ、形状データ、軸力伏図、応力図、壁パネル検定（個別）床パネルは長期検定（全パネル)、水平構面計算結果、金物伏図、金物軸図、剛性率・偏心率、開口部のせん断金物の検定出力等
積算　各部位別にＣＬＴ部材の積算を行います。　金物も種類別に算出致します。

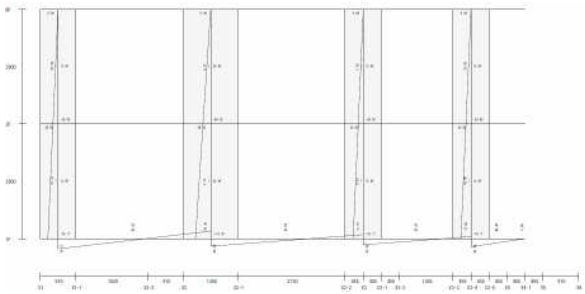
壁金物軸図



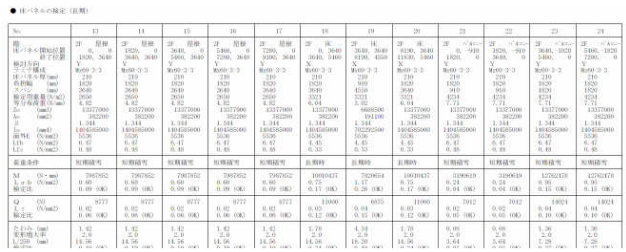
床パネル伏図



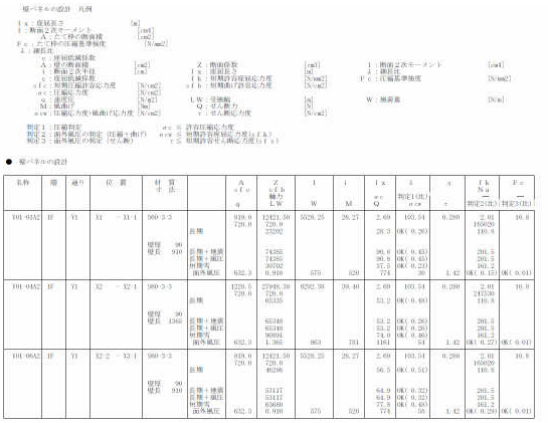
応力図



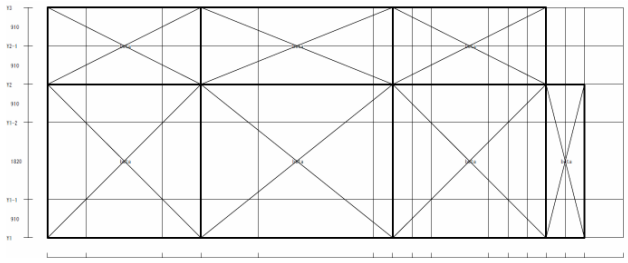
床パネルの検定



壁パネルの検定



べた基礎伏図



「CLT2016」許容応力度法（基礎含）　　６６０，０００（税込み）

年間メンテナンス料（バージョンアップ含む）　　３３，０００（税込み）

（開発・販売）株式会社　東京デンコー

〒１６７－００４２

東京都杉並区西荻北４－１－９―１０５

TEL０３（５３１１）１３７０　FAX０３（５３１１）１３７３

ホームページ　http://www.denco.co.jp

E-mail　info@denco.co.jp